



絵手紙

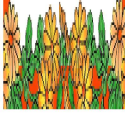
戸島 鈴江(中央区)

札幌森友会に入会して20数年、小林会長にはたくさん山へ連れて行って頂きました。春山・夏山、今ほども楽しい思い出ばかり、冬山のカシキ登山も忘れられない一つです。また、大きなプロジェクトの環境問題に取り組まれた数々の社会的活動など、自然に親しみ森を育てる行事に参加出来たことは嬉しく思っています。まだこれからも続けられる行事に参加できたらと思っています。会長の山に対する知識の広さと情熱に本当に多くの事を学ばせて戴き楽しませて頂きました。今も山を愛しサポートセンターとの出逢いが大きく森林から受ける思い、健康に元気に感謝し、幾つになっても頑張りたいと思っています。

歩いて健康 登って元気 森に自然に感謝

皆さんからのお便り!

人生いろいろ 思い出いろいろ



平成3年~平成30年

1991年~2018年 実行年度別活動回数区分表

Table with columns for Year, Winter (カシキ), Forest (森づくり), Mountain (登山: 札幌, 道内, 道外, その他), Observation (観察等), Environment (環境教育), Other (その他), External (他機関等に参加), Meeting (会議等), and Total (計). Rows list years from 3 to 30, with a total row at the bottom.

数字を読む 数字が語る 28年の足あと



私の知識の源

廣瀬 キミ子(北区)

札幌森友会、森林遊びサポートセンターを通して様々な野外活動を楽しませていただきました。登山をしながら、道端の小さな花や木の名前、特徴、危険な箇所などを会長から申し送りが始まります。最後尾に届いた時は微妙に変化していることもありましたが、全参加者が知識を共有することになります。登山を兼ねた本州、海外旅行や森林ボランティア(測量・地ごしらえ・植樹・下草刈り、除伐等)に学校環境教育の手伝い、大学生や外国の学生との交流、山菜の採り方など。解散を目前にしてジワッと浮かんでくるのが「座学」です。どうしたらこんなことを思いつくのだろうと不思議にさえ思いました。2008年冬季から月1回いろいろなテーマに添って講師を招き、会長ご自身も講師になって、私たちの生活を守る保安林の役割や山、川、海の繋がりが自然の大切さを様々な角度から学びました。今持っている私の知識の大半はこの会から得たものです。ありがとうございます。

山の楽しみを知って

阿部 美子(厚別区)

私が山の楽しみ登山の醍醐味を知ったのは札幌森友会に入会してからです。山は大好きでしたが、登山の経験もなく遠くから眺めるばかりでした。入会してからは毎年届く行事予定表が楽しみで、数ある行事の中から参加出来るような登山やボランティアなど随分楽しませて頂きました。たくさん楽しい思い出がありありがとうございます。会長さんはじめお世話して下さいました役員の方たちには大変感謝しております。また会長さんの奥様命子さんも内助の功苦勞様でした。NPO法人を解散されるのは、会長さんのもとても一抹の寂しさもあるかと思えます。新しい森友会の発展をお祈りいたします。

ボランティア活動と環境問題

井村 芳次(南区)

私は農業技術普及部門の職場を定年退職してから、環境問題であるリサイクルや緑化事業に関心があり、森林の手入れなどのボランティア活動に係わってきました。10年ほど前「森林遊びサポートセンター」に加入し、小林文男会長の指揮のもと植樹・育樹・環境教育・ウォーキング・フットパス・登山等々大変楽しい体験をさせて頂きました。山に木が生えていることは、あたり前であると思う人々が多いかと思いますが、国土面積の7割が森林面積であると云われている日本の山林は、はげ山、人工林で手入れが行き届かない荒れた山が沢山有ります。近年地球温暖化による気象変動により、自然災害が各地で頻発しています。地球温暖化の主要要因は、二酸化炭素を主体とする温室効果ガスです。樹木は成長すると共に多くの水を貯え、新鮮な酸素を作り出し、二酸化炭素を吸収蓄積するなど大きな役割を担っています。山林の手入れや緑化事業に参加することは地球温暖化防止の環境改善に貢献することであります。

私はこれらの思いを脳裏の片隅に置き、山に行くことが楽しみです。山林に入ると樹木が作り出してくれる、新鮮な空気を吸うことが出来爽快な気分になります。この山野草は何と云う名前だろうか、この樹木は昔からこの山に生えていた木だろうか、海外からやってきた外来樹木ではないだろうか等と思いをめぐらし、関心を持ちながら山を歩くことが楽しみです。特に山野草では近年外来種が多くはびこり、自然生態系を乱しています。それぞれの地域に、それぞれの山々の生態に適合した植物が生育しているのです。これらの自然生態系の環境を守ることを次世代に伝えて行くことが大変重要であると思えます。

もりのとも

表紙絵美術館

優しいタッチ 心癒やされ

ポタニカルアート